

資料 3 - 2

ジェネリック医薬品の信頼回復に向けた取組み

2023年2月10日

日本ジェネリック製薬協会

内容

はじめに	P3
令和4年度の主な取組み.....	P4
信頼回復に向けた主な取組み	
I. コンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントの強化	P6
II. 品質を最優先する体制の強化	P8
III. 安定確保への取組み	P11
IV. 積極的な情報の提供と開示	P17
V. その他、協会としての活動の充実、国等との連携	P19
参考資料	P22

はじめに

ジェネリック医薬品の品質問題、供給問題により、皆様に多大なご迷惑をおかけする事態となっておりますことを心よりお詫び申し上げます。

私たちは、現在、ジェネリック医薬品を製造販売する業界として、信頼回復に向け掲げた取組み課題に不退転の決意で臨んでおります。国民の皆様、関係者の皆様が抱いておられるジェネリック医薬品に対する不信感を解消しなければならない。それなくして、ジェネリック医薬品が真に医療に貢献することはできないと認識しております。

私たちがこれまで進めてまいりました信頼回復に向けた取組みについて、令和4年度からは会員各社における体制をさらに強化し、各社の責任のもとで取組みを継続・強化するフェーズに移行しております。

協会としては、各社の取組みを支援するとともに、引き続き会員会社のみならず、当協会会員以外の企業にも信頼回復に向けた取組みを広く呼びかけ、協会の枠を超えた幅広い活動を行ってまいります。

これらの活動を通じて、失ったジェネリック医薬品の信頼回復を実現いたします。

令和4年度の主な取組み

I. コンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントの強化

内部通報制度・体制（適正に機能するガバナンス体制（管理体制・内部統制））
各社におけるコンプライアンス強化の徹底

II. 品質を最優先する体制の強化

製造販売承認書と製造実態の自主点検
外部機関による製造所の管理体制の確認

III. 安定確保への取組み

各社供給状況の一元的な把握に向けた取組み

IV. 積極的な情報の提供と開示

協会ホームページのさらなる充実

V. その他、協会としての活動の充実、国等との連携

日本製薬団体連合会（日薬連）と連携しての供給不安解消への取組み
供給状況情報の充実に向けた業界を超えた取組み

信頼回復に向けた主な取組み

I . コンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントの強化

コンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントの強化（1）

経営者及びすべての社員にコンプライアンス意識が浸透し、ガバナンス体制（管理体制・内部統制）が強化されるとともに、協会のリスクマネジメントにより、品質の担保された医薬品を供給し続けられる状況を実現する。

※上記は、ガントチャート（工程表）に記載している取組み大項目についての記述

○令和4年度に行った取組み（中間報告）

- 経営トップ自らの製造現場訪問等による製造実態把握の徹底
経営者自らが製造現場を訪問し、製造実態を把握する取組みを令和3年度から継続実施しております。
- 各社におけるコンプライアンス・ガバナンスの強化の徹底
7月に開催したコンプライアンス担当者研修会では、各社で実行している具体的な取組事例を共有し、各社におけるコンプライアンス強化を図りました。
- 内部通報制度・体制（適正に機能するガバナンス体制（管理体制・内部統制））
6月1日に施行された改正公益通報者保護法への各社の対応状況をアンケート調査により確認し、対応が遅れている企業に対してサポートを行いました。
- リスクマネジメント体制の強化
7月にコンプライアンス担当者を対象とした実務者研修会を実施しました。
グループワークにより各社のコンプライアンスの取組みについて意見交換を行いました。

コンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントの強化（2）

各社の経営者及びすべての社員にコンプライアンス意識が浸透するには、コンプライアンス強化の取組みを継続して行うことが肝要です。

各社が自らの責任でコンプライアンスの強化が図られるよう、以下の取組みを行います。

○令和4年度（下期）の取組み

- 各社におけるコンプライアンス強化の徹底
 - 各社におけるコンプライアンス自己点検の実施（10月）
 - 自己点検に基づく対応策等の策定・実施
 - 各社におけるコンプライアンス強化の取組みの公表
 - 協会による各社におけるコンプライアンス対応状況の確認と共有（3月予定）
- 経営トップ自らの製造現場訪問等による製造実態把握の徹底
- 各社の内部通報制度・体制の充実支援
 - コンプライアンス責任者を対象とした研修会の実施（3月予定）
- リスクマネジメント体制の強化
 - 経営層を対象とした弁護士によるコンプライアンス講習会の開催（10月）

信頼回復に向けた主な取組み

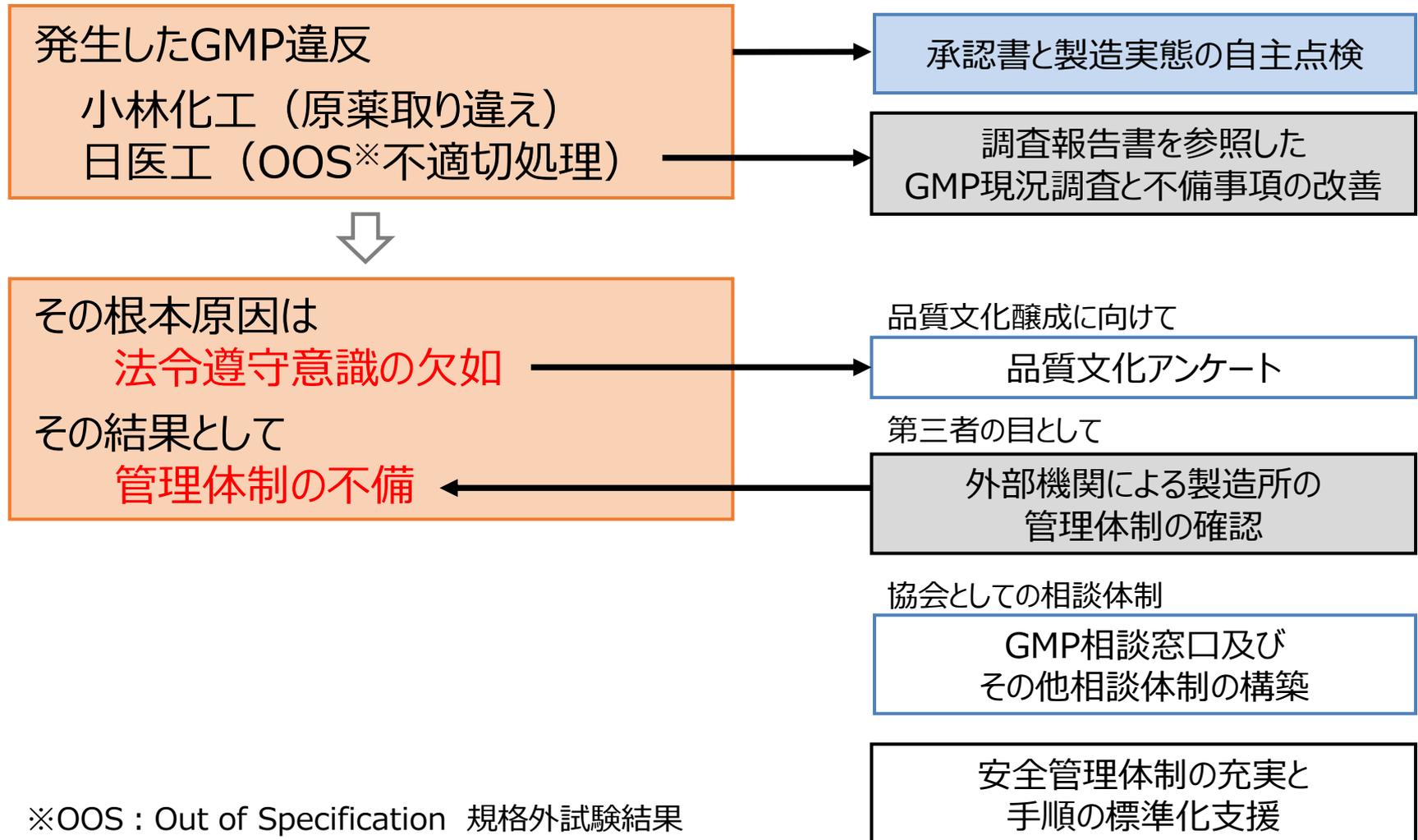
Ⅱ. 品質を最優先する体制の強化

各製造所で実施している自己点検や製造販売業者による監査が、法令を遵守した適切な製造管理・品質管理の下で行われているかを、外部機関のGMP専門家の支援を受けて確認する体制を構築します。（NPO-QAセンター）

品質を最優先する体制の強化

会員各社の医薬品の製造管理・品質管理体制（GMP）、品質保証体制（GQP）及び安全管理体制（GVP）の一層の強化を図るための取組みを継続的に実施する。

※上記は、ガントチャート（工程表）に記載している取組み大項目についての記述



※OOS : Out of Specification 規格外試験結果

品質を最優先する体制の強化

○外部機関による製造所の管理体制の確認について

各製造所で実施している自己点検や製造販売業者による監査が、法令を遵守した適切な製造管理・品質管理の下で行われているかを、外部機関のGMP専門家の支援を受けて確認する体制を構築します。

捜査権限のない第三者では意図的な隠ぺい工作がなされている企業の摘発は困難であり、不正行為発見を目的とした監査機関は存在しません。あくまでもGMP省令への適合性を調査する機関として **NPO-QAセンター（以下、センター）** を選定しました。

選定理由は、①代表理事である東京理科大学薬学部の櫻井教授をはじめ、GMP経験の豊富なメンバーが揃っている、②費用負担が少ない、③日医工の不正案件への支援実績がある 等。

センターと協議の上、監査を実施する主体は各製造販売業者（GQP）と致しました。

今回の問題の根源にはGQPの製造管理・品質管理の不備があったことから、GQPによる製造所管理の適切性の確認・向上を図るために、センターが完全代行で監査を行うのではなく、GQPが主体となって監査を行い、センターはそれを支援する体制で臨みます。

実際の本格的な実施を踏まえた沢井製薬の試行的監査（7/13）においては、GQPが通常行っている通りの製造所監査を行い、それにセンターが同行し、センターにはGQPによる監査を評価いただいた。

東和薬品（8/29、30）、日新製薬（9/20、21）での試行的監査も踏まえ、監査の方針、方法を統一した後に、各社がセンターと個別に契約して製造所の監査を行います。

信頼回復に向けた主な取組み

Ⅲ. 安定確保への取組み

安定確保への取組み（1）

**供給不安品目への対応として、各社は在庫の放出、増産対応、生産能力の増強を行う。
協会及び各社は供給不安品目の情報提供の充実と不安解消に向けた取組みを行う。**

※上記は、ガントチャート（工程表）に記載している取組み大項目についての記述

○これまでの取組み

会員各社は、在庫放出や個別品目の増産、行政からの通知に応えた限定出荷解除など、安定供給確保のための対応を継続的に行ってまいりました。また、協会特設サイトにて、会員各社毎の出荷停止・限定出荷品目一覧にリンクできるページを定期的に情報更新しています。

○「医薬品供給状況にかかる調査」（日薬連）の実施

○各社供給状況の一元的な把握に向けた取組み

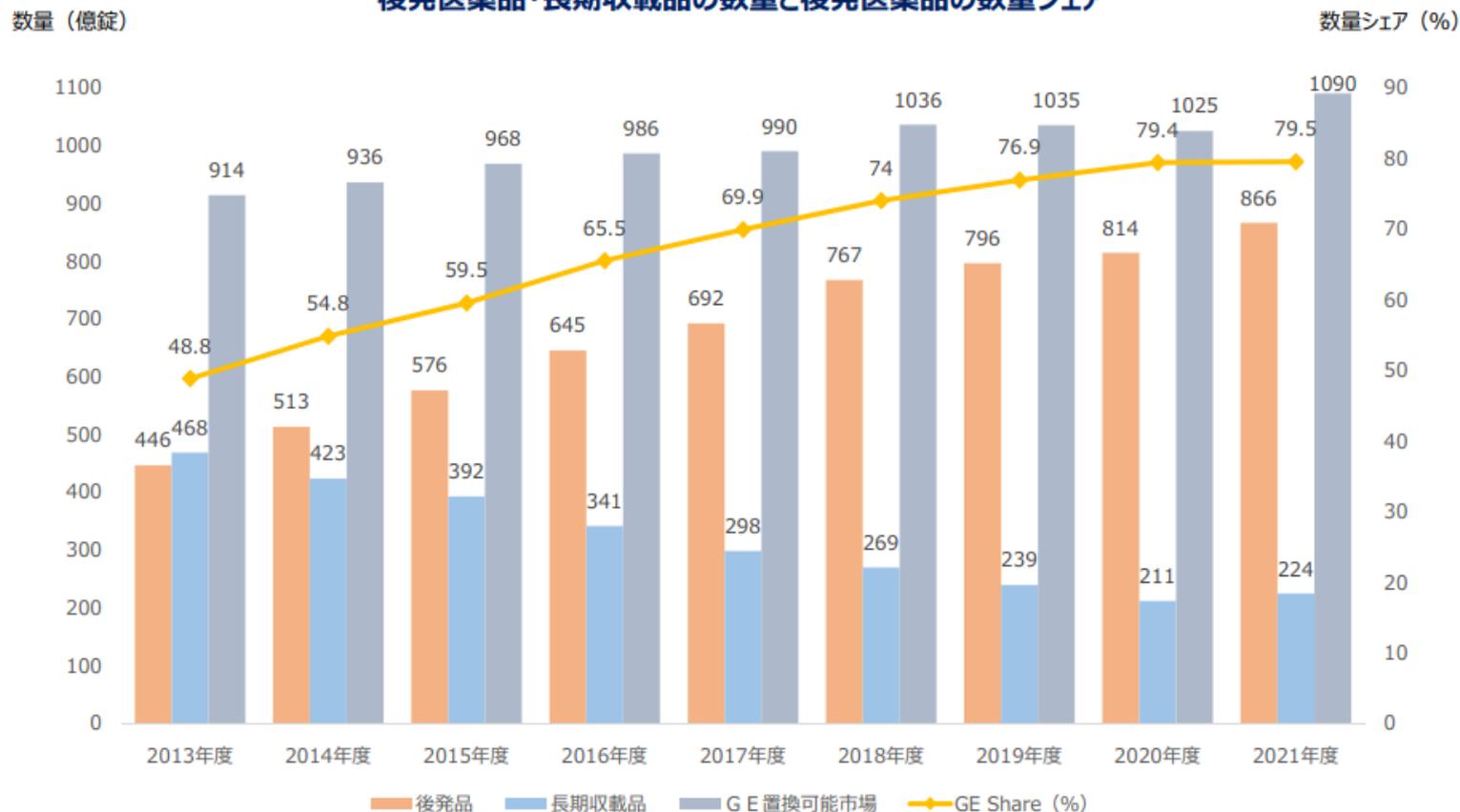
各社製品の供給状況を成分・規格などから検索可能な情報提供ページ「製品の供給について」を令和4年9月に情報公開しました。供給情報はリアルタイムに更新されます。提供する情報は日薬連がまとめた用語の定義に準拠しています。

現在、提供している情報は会員会社に限定されていますが、より多くの情報を提供できるよう、当協会の上部団体である日薬連を通じて当協会会員以外の企業にも呼びかけを行ってまいります。

ジェネリック医薬品の供給数量

後発医薬品は、患者さんの窓口負担の軽減、保険医療財政の改善に資するとともに、国民医療を守るためのものであり、今や医療のあらゆる分野で不可欠な医薬品となっている。

後発医薬品・長期収載品の数量と後発医薬品の数量シェア



(ジェネリック製薬協会会員会社のデータ及び一部 IQVIA 社のデータ (2013年度~2021年度) をもとに推計 無断転載禁止)

成分規格数で見た供給状況（11月調査）

対外公表資料

- 11月調査6,698成分規格の中で回答のあった6,430成分規格のうち、当該成分規格の全ての品目が「通常出荷」品目の成分規格は4,692（73.0%）、何らかの供給不安がある成分規格*¹は1,629（25.3%）である。
- 何らかの供給不安がある成分規格のうち、「通常出荷」品目合計の数量割合が80%以上の成分規格は587（9.1%）存在している。これらの成分規格の中には、当該成分規格の「限定出荷」品目の限定出荷を解除することで成分規格全体として通常出荷となる可能性のあるものがある（成分規格全体として通常出荷となる可能性のある成分規格リスト（excel）参照）。

供給状況		成分規格数	割合
通常出荷の成分規格* ²		4,692	73.0%
何らかの供給不安がある成分規格		1,629	25.3%
	下記、80%以上	587	9.1%
	下記、80%未満	1,042	16.2%
対前々年同期 数量比	通常出荷品目合計の 数量割合* ³		
105%以上* ⁴	80%以上	219	3.4%
	80%未満	410	6.4%
80%以上 105%未満* ⁵	80%以上	262	4.1%
	80%未満	396	6.2%
80%未満* ⁶	80%以上	106	1.6%
	80%未満	236	3.7%
その他の成分規格* ⁷		109	1.7%
合計		6,430	100%

*¹ 「出荷停止」品目と「限定出荷」品目が1品目でも存在する成分規格

*² 「出荷停止」品目と「限定出荷」品目が存在しない成分規格

*³ 本年7～9月度の数量で推計、成分規格内の全ての品目の数量に占める「通常出荷」品目の合計数量の割合（民間データによる）

*⁴ 本年7～9月における数量が一昨年7～9月における数量に比べて105%以上の成分規格（民間データによる）

*⁵ 本年7～9月における数量が一昨年7～9月における数量に比べて80%以上から105%未満の成分規格（民間データによる）

*⁶ 本年7～9月における数量が一昨年7～9月における数量に比べて80%未満の成分規格（民間データによる）

*⁷ 本年7～9月と一昨年7～9月を比較することができない成分規格（一昨年7～9月以降に発売されている成分規格）

今後の医薬品供給状況にかかる調査について

<今後の予定>

- 次回調査は、引き続き日薬連主体で2月に調査し、3月公表予定（これまで通り3か月に1回の調査）
- 4月以降については、調査は厚労省主体となり、これに業界が協力する形で毎月調査、公表を行う予定
- 供給不安解消に向けた対応策については、引き続き業界（GE薬協供給不安解消推進チーム及び日薬連供給不安解消TF）として検討し、厚労省と連携し、両者で実行、推進する予定
- 併せて、国の供給情報データベースの構築にも協力

<供給情報に関わる当面の対応>

- 各企業のHPによる情報の徹底（記載の不備の是正を含む）
- 企業への調査への協力要請の徹底
- 企業への調査事項への適切な回答と全品目回答の要請の徹底
- 調査事項の一部見直し（公開情報、非公開情報）

安定確保への取組み（2）

● 「製品の供給状況について」画面

- 成分で検索可能
- 日薬連が発出した用語の定義に対応
- 製品毎に案内文書にリンク
- 画面をエクセルもしくはCSVで出力可能



一般の方向け 医療関係者の方向け 報道関係者向け GE薬協について JGApedia JGAニュース お問い合わせ



検索結果をダウンロード (Excel)

検索結果をダウンロード (csv)

表示件数： 100件

検索：

掲載日	更新日	製品名	成分	規格	製造販売会社	出荷量の状況	製造販売業者の対応状況	出荷支障又は出荷停止の解決見込み時期	案内文書
2022/09/30	2022/09/30	ピレチノール	アセトアミノフェン	1 g	岩城	A.出荷量通常	①通常出荷		
2022/09/30	2022/09/30	アセトアミノフェン「J」	アセトアミノフェン	1 g	長生	A.出荷量	③限定出荷(他)	未定	↑

信頼回復に向けた主な取組み

IV. 積極的な情報の提供と開示

積極的な情報の提供と開示（1）

協会及び会員各社は、積極的な情報の提供と開示に取り組むとともに、
会員以外のジェネリック医薬品製造販売企業にも同様の取り組みを行うよう呼びかける。

※上記は、ガントチャート（工程表）に記載している取組み大項目についての記述

広報委員会では、協会が保有するあらゆるコミュニケーションツール※¹を駆使して、ステークホルダー※²や一般の報道等で不安を感じた国民を含め、広く情報の発信に努めて参りました。

「医薬品産業ビジョン2021」に記載のある“価格以外の医薬品の価値に関わる情報が医療現場等に対して十分に提供され、それに基づき評価がされる環境を整備していく”を踏まえた「情報発信」および「見える化」を通じ、信頼回復の一助にすることを目的として展開いたしました。

※¹ 協会サイト、協会ツイッター、協会YouTube、医療関係者向けメールマガジン、JGAニュース（月刊誌）、講演活動等

※² ステークホルダー：医療関係団体、保険者、行政等、企業が活動を行うことで影響を受ける関係者

○令和4年度に行っている取組み

(1) ステークホルダーに対する協会及び会員会社の取組み状況の積極的な説明

- 学術大会、外部団体における講演実施
- 個別での説明を多くの団体に実施

※参考資料p31参照

信頼回復に向けた主な取組み

V. その他、協会としての活動の充実、国等との連携

その他、協会活動の充実、国等との連携

ジェネリック医薬品の信頼回復に向けた取組みを着実に進めるため、協会としての活動の充実を図るとともに、国や業界上部団体と課題を共有しながら対策を講じる。

※上記は、ガントチャート（工程表）に記載している取組み大項目についての記述

○日本製薬団体連合会（日薬連）と連携しての供給不安解消への取組み

現在も依然として多くの医薬品の供給不安が続いているため、その解消に向け、各会員会社は、増産対応、限定出荷の解除や、供給状況に関する最新情報の提供に努めております。

併せて、医薬品を製造し供給する団体としても必要な情報を提供していく必要があると認識しております。そのため当協会では、協会としての取組みだけでなく、本年3月に上部団体の日薬連の安定確保委員会に設立された供給不安解消タスクフォースのメンバーとなり、当局とも相談を行いながら、製造販売企業に対して、卸売販売業者への医薬品販売（供給）状況の報告を求める「医薬品の供給状況にかかる調査」を行い、その結果を一覧で公表しております。本調査は、公正取引委員会に独占禁止法に抵触しないことを確認のうえで実施しております。6月に第1回目調査を実施し、9月にも対象品目を広げた調査を実施しております。

○供給状況情報の充実に向けた業界を超えた取組み

供給状況情報の提供については未だ課題が多いと認識しております。

今後は、業界内の取組みの範囲を越え、業界外組織とも協力体制を確立し、正確かつ迅速な供給状況情報の提供を目指すことで、医療機関、薬局の皆様の供給不安解消に努めてまいります。

さいごに

私たちがこれまで進めてまいりました信頼回復に向けた取組みについて、令和4年度からは会員各社における体制をさらに強化し、各社の責任のもとで取組みを継続・強化するフェーズに移行しております。

協会としては、各社の取組みを支援するとともに、引き続き会員会社のみならず、当協会会員以外の企業にも信頼回復に向けた取組みを広く呼びかけ、協会の枠を超えた幅広い活動を行ってまいります。

これらの活動を通じて、失ったジェネリック医薬品の信頼回復を実現いたします。

參考資料

品質を最優先する体制の強化 参考資料（１）

● 再発防止策提言を参照したGMP現況調査（設問 1/3）

ア 手順（SOP等）に関して

（１）OOS管理手順について

- ① OOS管理手順書の内容には、手順の流れを分かりやすくするためのフローチャートなどが作成され添付されていますか？
- ② 初回試験結果の棄却の条件及び手順は、SOPに規定されていますか？
- ③ 再試験を実施する条件及び手順はSOPに規定されていますか？
- ④ 再サンプリングを実施する条件及び手順はSOPに規定されていますか？
- ⑤ OOS管理手順書の適用範囲に安定性試験・安定性モニタリングを含めることが記載されていますか？

（２）出荷規格について

有効期間を通しての品質確保を考慮して出荷規格を定めていますか？

（安定性試験で、含量が低下したり、溶出が遅延する品目については、それを考慮した出荷規格が設定されていますか？）

（３）逸脱管理手順について

- ① 逸脱管理責任者の権限が明確に規定されていますか？（出荷規格不適合の逸脱に係る逸脱管理責任者の権限範囲が明確化され、出荷試験の合否に係る判断・結論が不当に覆されない手順となっていますか？）
- ② 生産業務部（生産及び出荷スケジュールの管理部署）の役割について
生産業務部の役割は、出荷管理に係る情報（生産及び出荷スケジュール）の管理・伝達に限定されていますか？
- ③ 変更管理の手順への移行について
OOSや逸脱の再発防止のため、製造方法の変更が必要と判断された場合には、変更管理に移行する手順が整備されていますか？
- ④ OOSや逸脱に係る情報は、品質保証に係る業務を担当する組織部門へ延滞無く連絡（報告）されるシステムになっていますか？

品質を最優先する体制の強化 参考資料（２）

● 再発防止策提言を参照したGMP現況調査（設問 2/3）

イ 試験記録管理の厳格化

試験指図、試験記録書の発行手順

- ① 試験指図、試験記録の発行について、ログブック等で管理を行う等DIが確保されていますか？
- ② 試験結果が不適合となった場合、その試験結果の処理が適切であることを品質保証に係る業務を担当する組織が確認した上で最終的な適合・不適合の判定がなされる仕組みになっていますか？
- ③ 品質管理部門の責任者が、試験指図、試験記録の発行について管理を行うことになっていますか？

ウ OOSの状況を適時に確認・追跡できるシステムの導入

- ① 安定性試験において不適合の結果が出た場合、その不適合結果の試験の種類、内容が延滞無く品質保証に係る業務を担当する組織及び品質保証部門に連絡（共有）されるシステムとなっていますか？
- ② 不適合の結果は品質保証部門に連絡される（共有される）システムとなっていますか？
- ③ 品質保証に係る業務を担当する組織がそのOOSの処理状況を追跡できる（またはマイルストーンごとに自動的に共有される）システムとなっていますか？

エ GMP組織の見直し

（ア）医薬品製造管理者の変更

GMP組織の職制と社内組織の職制が合致していないことによる不具合は発生していませんか？

（GMP組織の長である医薬品製造管理者の意見・判断が社内組織の職制により歪曲されることはありませんか？）

（イ）逸脱管理責任者・逸脱管理副責任者その他の逸脱管理担当者の変更

出荷ありきの逸脱処理とならないように、逸脱管理責任者は、生産及び出荷スケジュールの管理部署とは別の部門（品質保証に係る業務を担当する組織）に所属した適任者が任命されていますか？

品質を最優先する体制の強化 参考資料（3）

● 再発防止策提言を参照したGMP現況調査（設問 3/3）

オ GMP教育訓練の徹底

- ① GMP教育を通じて、法令を遵守し、安全な医薬品の製造が最も大切であることを繰り返し教育していますか？
- ② 外部の専門家等による定期的な研修を継続的に行っていますか？

カ 品質管理部門・GMP推進部の権限強化

- ① 品質管理部門による試験及び、品質保証部門での製造記録並びに試験記録の照査を行うために、製造から出荷まで適切なリードタイムを設けていますか？
- ② 工場で製造する品目に関し、GMPを遵守し適正かつ円滑な品質管理が実施可能な人員の質及び数が確保されていますか？
- ③ 品質保証に係る業務を担当する組織は、定期・予告なしで工場におけるGMPの遵守状況をチェックしていますか？
- ④ 製造部門は、品質保証に係る業務を担当する組織のGMP遵守状況のチェックに対して協力していますか？

キ 安定性モニタリンググループの設置及び実施状況監査

(ア) 安定性モニタリンググループの設置

- ① 安定性試験・安定性モニタリングのための人員数を十分に確保していますか？
- ② すべての安定性試験、安定性モニタリングに対し計画を策定し、もれなく実施されるよう管理（リスト化など）が行われていますか？

(イ) 安定性試験・安定性モニタリングリスト作成・報告

- ① 各安定性試験の計画から遅延が生じる場合、品質保証に係る業務を担当する組織（品質管理部門又は／及び品質保証部門）で共有される仕組みとなっていますか？
- ② 安定性試験結果、安定性モニタリングにおいて、未実施試験を実施したような捏造、結果の改竄などを防止する運用となっていますか？

安定確保への取組み 参考資料（1）

● 会員会社供給調整状況一覧の公開

会員会社供給調整状況一覧

一覧更新日：2022年 9月13日

会社名	供給調整 品目数	供給調整 品目一覧	情報更新日 (供給調整関係)	供給調整品目 一覧のリンク	関連情報ページ のリンク
岩城製薬株式会社	0				●
大蔵製薬株式会社	0				●
大原薬品工業株式会社	55	有	2022年8月18日	●	●
キョーリンリメディオ株式会社	116	有	2022年8月26日	●	
共和クリティケア株式会社	10	有	2022年6月27日	●	●
共和薬品工業株式会社	180	有	2022年8月9日	●	●
コーアイセイ株式会社	4		2022年8月3日	●	●
寿製薬株式会社	2		2021年9月8日		●
					●
沢井製薬株式会社	295	有	2022年9月7日	●	●
サンド株式会社	51	有	2022年8月18日	●	●
サンファーマ株式会社	2	有	2022年8月9日	●	●
ジェイドルフ製薬株式会社	3	有	2022年8月23日	●	●
全星薬品工業株式会社	15	有	2022年4月12日	●	●

安定確保への取組み 参考資料 (2)

● 供給状況に関する用語の定義に基づいた情報提供

供給状況 (限定出荷・出荷停止) ・一部包装欠品 対象製品一覧

沢井製薬株式会社

比較対象時点：2020年9月

※：情報を更新した製品（「お知らせ文書（一覧）」の更新は除く）

[更新履歴はこちら](#)

2022年9月12日時点

※	製品名	日薬連通知に基づく表示（詳細はこちら）		出荷停止又は 限定出荷解除 見込み時期 ※空白は未定	日薬連 供給状況調査 対象製品 （詳細はこちら）	一部包装 欠品	案内開始 年月	お知らせ文書 （一覧）	お知らせ文書 （個別）
		出荷量の状況	製造販売業者の対応状況						
	アカルボース錠100mg「サワイ」	A.出荷量通常	①通常出荷			予定あり	2021年11月		あり
	アクタリット錠100mg「サワイ」	D.出荷停止	－				2021年12月	あり	あり
	アシクロビル顆粒40%「サワイ」	A.出荷量通常	①通常出荷		○	予定あり	2021年11月		あり
	アジスロマイシン錠250mg「サワイ」	A.出荷量通常	②限定出荷(自社の事情)				2021年6月	あり	
	アズレンうがい液4%「TOA」	A.出荷量通常	④限定出荷(その他)				2022年9月	あり	
	アラセプリル錠12.5mg「サワイ」	D.出荷停止	－		○		2021年5月	あり	あり
	アラセプリル錠50mg「サワイ」	D.出荷停止	－		○		2021年5月	あり	あり
	アルファカルシドールカプセル0.25μg「サワイ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)				2021年5月	あり	
	アルファカルシドールカプセル0.5μg「サワイ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)				2021年4月	あり	
	アルファカルシドールカプセル1μg「サワイ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)				2021年4月	あり	
	アルプラゾラム錠0.4mg「サワイ」	A.出荷量通常	②限定出荷(自社の事情)				2021年8月	あり	
	アルプラゾラム錠0.8mg「サワイ」	A.出荷量通常	②限定出荷(自社の事情)				2021年8月	あり	
	アレンドロン酸錠5mg「サワイ」	D.出荷停止	－		○		2021年5月	あり	あり
	アロチノール塩酸塩錠5mg「サワイ」	A.出荷量通常	②限定出荷(自社の事情)		○		2021年6月	あり	
	アロチノール塩酸塩錠10mg「サワイ」	A.出荷量通常	②限定出荷(自社の事情)				2021年6月	あり	
	アロプリノール錠50mg「サワイ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)				2022年9月	あり	
	アロプリノール錠100mg「サワイ」	A.出荷量通常	②限定出荷(自社の事情)				2021年8月	あり	
	アンブロキシソール塩酸塩Lカプセル45mg「サワイ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)				2021年4月	あり	
	アンブロキシソール塩酸塩錠15mg「サワイ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)				2021年4月	あり	
	アンブロキシソール塩酸塩徐放OD錠45mg「サワイ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)		○		2021年5月	あり	

積極的な情報の提供と開示 参考資料（1）

●外部への説明

（令和4年9月時点）

	依頼者	開催日	依頼テーマ
実施済	岡山県後発医薬品の安心使用の為の協議会	R4年6月17日	後発医薬品に関する品質及び安定供給の確保
	日本保険薬局協会 医薬品流通・OTC検討委員会	R4年8月2日	ジェネリック医薬品安定供給に向けた業界の取組について
	日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会	R4年8月6日	後発医薬品信頼回復に向けて
	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	R4年8月21日	我が国における後発医薬品の役割と信頼回復に向けた取組
	立命館大学 創薬化学研究センター 創剤・製剤技術研究コンソーシアム	R4年8月26日	医薬品の安定供給～ジェネリック産業の果たす役割
	愛媛県ジェネリック医薬品安心使用連絡会	R4年9月4日	ジェネリック医薬品安心使用セミナー
	福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会	R4年9月6日	ジェネリック医薬品に対する信頼回復に向けた取組について
	第55回日本てんかん学会学術集会	R4年9月20日	ジェネリック医薬品に対する信頼回復に向けた取組について
予定 確定	奈良県桜井市医薬品適正使用促進地域協議会	R4年10月7日	後発医薬品の品質及び安全性の確保と安定供給に向けた取組について
	日本薬剤師会学術大会分科会	R4年10月9日	後発医薬品の供給問題と安定供給に向けた対策
	滋賀製薬技術者会 薬学教育講座	R4年11月25日	製薬業界、ジェネリック業界の未来に向けた課題
	富山県医薬品工業協会ジェネリック委員会での講演	R4年12月3日	未定
	第44回日本病院薬剤師会近畿学術大会	R5年2月4日？ 5日？	ジェネリック医薬品に対する信頼の回復に向けたGE薬協の取組について(シンポジウム)

【今後の仮予定】

- 令和5年2月、3月：計5件（大阪府病院薬剤師会、大阪府後発医薬品安心使用促進のための協議会、鹿児島県後発医薬品安心使用促進講習会、京都府後発医薬品安心使用に係る意見交換会、日本医薬品卸勤務薬剤師会中国ブロック）

【参考】※GE薬協主催説明会

- 令和4年10月：計3件（全国薬務関係主管課、全国健康保険協会、健康保険組合連合）

積極的な情報の提供と開示 参考資料（2）

健康・暮らしに役立つ情報をお届け

JGApedia



HOME > JGApediaTOP > GE薬協コラム > 【Factに迫る！】非財務情報とは？～時代に即した企業の情報開示のあり方に迫る～

2022.02.22 [GE薬協コラム](#)

【Factに迫る！】非財務情報
開示のあり方



非財務情報 公開状況

								2022年1月時点
会員会社名	理念、社是等 (統合報告書等以外)	統合報告書	SDGs、ESG、CSR (統合報告書等以外)		サステナビリティ レポート	アニュアルレ ポート	CSR レポート	備考
岩城製薬株式会社	●	-	-	-	-	-	-	
大蔵製薬株式会社	-	-	-	-	-	-	-	明治グループ/Meiji Seika ファルマ 統合報告書 (<a href="https://www.meiji.com/investor/library/integrate
dreports/">https://www.meiji.com/investor/library/integrate dreports/)、サステナビリティレポート (https://www.meiji.com/sustainability/)
理事 大原薬品工業株式会社	●	-	CSR	●	-	-	-	
理事 キューリンメディア株式会社	●	-	-	-	-	-	-	(キューリン製薬ホールディングス) https://www.kyorin-gr.co.jp/fr/library/annual.shtml
共和クリティケア株式会社	-	-	-	-	-	-	-	
副会長 共和薬品工業株式会社	●	-	SDGs	●	-	-	-	
コアアイセイ株式会社	-	-	-	-	-	-	-	コーワ商事ホールディングス
寿製薬株式会社	-	-	SDGs、CSR	●	-	-	-	
会長 沢井製薬株式会社	●	●	サステナビリティ ESG	●	「統合報告書」参照	「統合報告書」参照	「統合報告書」参照	
サンド株式会社	-	-	SDGs	●	-	-	-	
監事 サンファーマ株式会社	●	-	企業の社会的責任	●	-	-	-	
ジェイドルフ製薬株式会社	●	-	CSR、SDGs	●	-	-	-	行動規範の7は関連内容
全星薬品工業株式会社	●	-	SDGs、EHS	●	-	-	-	

【Factに迫る！】非財務情報

※利用ポリシー：本資料を転載・複製

に従ってください。

参考：<https://www.kyorin-gr.jp/po>

前回のコラム第五弾では「ESG経営」について迫りましたが、近年、企業の情報開示において、ESG（環境・社

会・ガバナンス）情報などに代表される非財務情報の重要性が世界的に高まっています。

その一方で、国内外の企業は、各種媒体を通じて、非財務情報を開示する取り組みを加速しています。

ご参考：[GE薬協会員企業の『非財務情報に関する開示状況』](#)



積極的な情報の提供と開示 参考資料（3）

健康・暮らしに役立つ情報をお届け

JGApedia



2022.04.28 知っ得！豆知識

都道府県「ジェネリック医薬品採用リスト」まとめページ



本ページでは、公開されている都道府県の「ジェネリック医薬品採用リスト」（採用リスト掲載ページのURL）を一覧にしておりますので、ご活用いただけますと幸いです。

（参考情報として、協会けんぽ様の「都道府県支部ジェネリック医薬品 実績リスト」も併せて掲載）

2022年4月時点

No.	都道府県名	情報の有無 (●×)	採用リスト名称 掲載先ページのURL	備考	(参考) 協会けんぽ 都道府県支部 ジェネリック医薬品 実績リスト
1	北海道	●	後発医薬品採用リスト 掲載先ページ	令和2年度の資料。	リンク
2	青森	×		市区町村単位では、「採用リスト」を掲載している地域あり。	リンク
3	岩手	×			リンク
4	宮城	●	主要病院後発医薬品採用リスト 掲載先ページ		リンク

積極的な情報の提供と開示 参考資料（4）

GE薬協レポート

2022年08月25日

レポート

信頼回復に向けた取り組み 田中広報委員長がパネリストとして登壇～第16回学術大会日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 シンポジウム～（講演資料公開中！）



2022年8月6日（土）に実施された日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会学術大会「シンポジウム1」で、当協会の田中広報委員長がパネリストとして講演させていただきました。田中委員長が発信したKeywordは、下記です。

- 協会の取り組みの「5本柱」
- 医薬品を安定的に製造、供給するために必要な「投資」
- 「薬価と流通」を合わせた検討

協会は引き続き、会員企業と連携した企業にも信頼回復に向けた取り組みを広く

講演資料は、こちらをご覧ください！ [PDF](#)  (PDF 2mb)

開催日時：2022年8月6日（土）16:10～17:40（WEB開催）

セッション名：シンポジウム1「後発医薬品信頼回復へ向けて」

概要：2021年の後発医薬品企業不祥事に端を発した、医薬品供給不足の現状を振り返り、その信頼回復へ向けての取り組みについて検討を行いました。当協会からは田中広報委員長がシンポジストとして当協会の信頼回復に関する取り組みについて説明いたしました。

「ジェネリック医薬品に対する信頼の回復」に向けた
日本ジェネリック製薬協会の取組みと決意

令和4年8月6日
日本ジェネリック製薬協会
広報委員会 田中俊幸

Copyright © 2022 Japan Generic Medicines Association. All Rights Reserved.

1

「ジェネリック医薬品に対する信頼の回復」に向けた日本ジェネリック製薬協会の取組みと決意

「安心」して使用いただけるように市場に流通する状況を実現してまいります。

の強化
、ガバナンス体制（管理体制・内部統制）が強化
を継続的に実施してまいります。

P）、品質保証体制（GQP）及び安全管理体制
実施してまいります。

供給不安解消に向けた取組みを実施してまいります。

の取組みを継続するとともに、会員以外のジェネリック
に掛けてまいります。

7

「その他」
上記の取組みを着実に進めるため協会としての活動の強化を図り、行政当局と課題を共有しながら対策を
講じてまいります。

Copyright © 2022 Japan Generic Medicines Association. All Rights Reserved.

積極的な情報の提供と開示 参考資料（5）

●特設サイト「ジェネリック医薬品に対する信頼の回復に向けた当協会の取組みについて」

特設サイトを設け、協会の取組みの概要や進捗状況等まとめて情報公開中です。

当協会WEBサイトTOPページ



ジェネリック医薬品に対する信頼の回復に向けた 当協会の取組みについて

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 協会会長からお詫びと決意 | 6. 厚労省関係通知 |
| 2. 信頼性回復に向けた取り組み | 7. 会員各社の自主点検状況について |
| 3. 協会としての取り組み | 8. 会員各社の情報公開状況について |
| 4. アンケート・調査等 | 9. 会員各社の供給調整状況について |
| 5. 会員会社への要請 | 10. 会員各社の法令遵守宣言について |

(令和4年7月15日新設)

積極的な情報の提供と開示 参考資料 (6)

PRESS RELEASE



報道関係者各位

2022年9月5日
日本ジェネリック製薬協会

日本ジェネリック製薬協会 × 鷹の爪団 スクープ! 鷹の爪団『第一話 どうして品薄!? ジェネリックの今!』公開開始

～ジェネリック医薬品業界で一体何が起きたのか!?

そして未来に何が起こるのか? 鷹の爪団が導き出す真実とは?! 目指せ大スクープ!～



日本ジェネリック製薬協会(事務局:東京都中央区 会長:高田 浩樹)は、2022年9月5日(月)から、鷹の爪団とコラボレーションした動画「スクープ! 鷹の爪団第一話 どうして品薄!? ジェネリックの今!」を公開しました。

鷹の爪団の取材を通じて、ジェネリック医薬品業界に生じている問題について分かりやすく紐解くと共に、過去の不祥事と真摯に向き合い、業界全体で信頼回復のために取り組むジェネリック医薬品業界の実情やその行く末について、鋭く迫る内容を展開いたします。少しでも多くの皆様にご覧いただき理解と安心につながりましたら幸いです。

(動画 配信時期) 2022年9月5日(月)～ ※順次、第二話、第三話を公開予定。

(特設サイト) https://www.jga.gr.jp/jga_scoop_takanotsume.html

(配信先) Youtube DLEチャンネル <https://www.youtube.com/channel/UCy4IGSEOrADMfp12aUxpBLw>

—動画本編#1 <https://youtu.be/GS3Q54Ym7f0>

日本ジェネリック製薬協会 Japan Generic Medicines Association(略称「GE 薬協」とは—— GE 薬協

当協会は、医療用医薬品の製造販売等を行う企業を会員とし、良質で安価な医薬品を安定的に製造・供給し、医薬品産業の健全な発展を通じて、国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的として活動を行う団体です。新任報道関係者への業界に関するレクチャーや協会自体への取材対応など、業界の認知や正しい知識の普及活動も行っておりますので、事務局までお問い合わせください。

(お問い合わせ先)

日本ジェネリック製薬協会 事務局

〒1103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-4 TEL: 03-3279-1890 / FAX: 03-3241-2978

Twitter 公式アカウントはこちらから / [@official_jga](https://twitter.com/official_jga) YouTube 公式アカウントはこちらから / [YouTube](https://www.youtube.com/channel/UCy4IGSEOrADMfp12aUxpBLw)

(動画 イメージ)



スクープ! 鷹の爪団 #01_FINAL0829

(特設サイト イメージ)

ジェネリック医薬品業界で
一体何が起きたのか!?

そして未来に何が起こるのか?

鷹の爪団が導き出す真実とは?!

目指せ大スクープ!



どうして品薄!? ジェネリックの今!

本編、第1話の配信は、2022年9月5日(月)から開始されます。第2話、第3話は順次公開予定です。また、本編の配信は、YouTube、DLEチャンネル、および特設サイトにて同時配信いたします。お問い合わせは、事務局までお願いいたします。お問い合わせ先は、事務局までお願いいたします。お問い合わせ先は、事務局までお願いいたします。

用語解説①
ジェネリック医薬品



ジェネリック医薬品(後発医薬品)と言って、いわゆる特許が切れた新薬と同じ有効成分で作られた医薬品のことで、ジェネリック医薬品は開発費が抑えられるため、新薬より安価に同じ成分の薬を作りることが可能。ほかにもジェネリック医薬品の特長があるが、詳しい情報は日本ジェネリック製薬協会のホームページにも掲載している。

鷹、鷹の爪団は、ジェネリック製薬業界の過去・現在・未来を調査していく中で、今後増え続ける医療費を抑えられるジェネリック医薬品は、これからの時代にとって、欠かせない存在であることがわかった。

過去の不祥事と真摯に向き合い、業界全体でも信頼を醸成し、信頼を回復し、新しい医療や世界の発展に、信頼回復のために努力しているジェネリック製薬業界の行く末を

鷹、鷹の爪団は、これからは進んでいく...



● 日薬連「医薬品供給状況にかかる調査」の公表

HOME> 医薬品供給状況にかかる調査

医薬品供給状況にかかる調査

令和2年12月以降、ジェネリック医薬品の品質不正問題が多発し、多くの医薬品の製造が長期間停止したことに端を発して、現在も多くの医薬品で供給不安が続いております。

医薬品の供給状況につきましては、現在全体を一覧で確認できるリストが存在していないことが要因となり、医療関係者の皆様に供給不足となっている医薬品の代替品を確保するために多大な労力をおかけしています。また、状況が把握できないために、一部では在庫を抱えざるを得ない状況となっています。

この現状を踏まえ、日薬連として、「医薬品の供給状況にかかる調査」を行いましたので、供給状況を一覧で公開させていただきます。

2022年6月15日
安定確保委員会

調査結果

2022年5月

- [「医薬品供給状況にかかる調査」について](#)
- [日薬連 2022年5月供給状況調査結果 \(excel版\)](#)
- [日薬連 2022年5月供給状況調査結果 \(PDF版\)](#)
- [厚生労働省 医政局経済課長 関連通知](#)

copyright (c) 2004 The Federation of Pharmaceutical Manufacturers' Associations of JAPAN. All rights reserved.

その他、協会としての活動の充実、国等との連携 参考資料（2）

● 日薬連 2022年5月供給状況調査結果

2022年5月供給状況調査結果

2022年5月調査対象区分	業種区分	成分	規格	製造販売承認企業	製品名	出荷量の状況	製造販売業者の対応状況	出荷停止又は 限定出荷の解消 他込み時期
2022年5月調査 80%以下	内用薬	L-アスパラギン酸カリウム	3.00mg錠	共和薬品	L-アスパラギン酸K錠3.00mg「アメル」	D.出荷停止	—	未定
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00%1g	GSK	ゾビラックス錠4.0%	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00%1g	沢井	アシクロビル錠4.0%「サワイ」	A.出荷量通常	②限定出荷(自社の事情)	未定
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00%1g	武田テバ薬品	アシクロビル錠4.0%「テバ」	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00%1g	奥生堂	アシクロビル錠4.0%「CH」	D.出荷停止	—	2022年06月以降
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00%1g	東和薬品	アシクロビル錠4.0%「トーウ」	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00%1g	高田	アシクロビル錠4.0%「タカタ」	D.出荷停止	—	2023年1月以降
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00%1g	日医工	アシクロビル錠4.0%「日医工」	D.出荷停止	—	2023年4月以降
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00%1g	小林化工	アシクロビル錠4.0%「MEEK」	D.出荷停止	—	販売中止
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アシクロビル	2.00mg錠	GSK	ゾビラックス錠2.00	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アシクロビル	2.00mg錠	沢井	アシクロビル錠2.00mg「サワイ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)	未定
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アシクロビル	2.00mg錠	東和薬品	アシクロビル錠2.00mg「トーウ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)	未定
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アシクロビル	2.00mg錠	日医工	アシクロビル錠2.00mg「日医工」	D.出荷停止	—	2023年4月以降
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アシクロビル	2.00mg錠	小林化工	アシクロビル錠2.00mg「MEEK」	D.出荷停止	—	販売中止
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アシクロビル	2.00mg錠	マイルンEPD	アシクロビル錠2.00mg「VTRS」	D.出荷停止	—	未定
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00mg錠	GSK	ゾビラックス錠4.00	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00mg錠	沢井	アシクロビル錠4.00mg「サワイ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)	未定
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00mg錠	東和薬品	アシクロビル錠4.00mg「トーウ」	B.出荷量減少	①通常出荷	—
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00mg錠	日医工	アシクロビル錠4.00mg「日医工」	D.出荷停止	—	2023年4月以降
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00mg錠	小林化工	アシクロビル錠4.00mg「MEEK」	D.出荷停止	—	販売中止
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アシクロビル	4.00mg錠	マイルンEPD	アシクロビル錠4.00mg「VTRS」	D.出荷停止	—	未定
2022年5月調査 80%以下 (昨年12月調査 80%以下)	内用薬	アシクロビル	8%1mL	高田	アシクロビルシロップ8%「タカタ」	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 80%以下 (昨年12月調査 80%以下)	内用薬	アシクロビル	8%1mL	小林化工	アシクロビルシロップ8%「MEEK」	D.出荷停止	—	販売中止
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	1g	鶴屋	マナシンGA配合顆粒	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)	2022年8月
2022年5月調査 80%以下	内用薬	アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	1g	豊達堂	アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン配合顆粒「クニヒロ」	A.出荷量通常	③限定出荷(自社の事情)	未定
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アセトアミノフェン	2.00mg錠	あゆみ	カロナール錠2.00	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アセトアミノフェン	2.00mg錠	ニプロ	アセトアミノフェン錠2.00mg「NP」	D.出荷停止	—	未定
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アセトアミノフェン	2.00mg錠	奥生堂	アセトアミノフェン錠2.00mg「JG」	D.出荷停止	—	2022年10月以降
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アセトアミノフェン	2.00mg錠	高田	アセトアミノフェン錠2.00mg「タカタ」	D.出荷停止	—	2023年1月以降
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アセトアミノフェン	2.00mg錠	東和薬品	アセトアミノフェン錠2.00mg「トーウ」	B.出荷量減少	②限定出荷(自社の事情)	未定
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アセトアミノフェン	2.00mg錠	丸石	アセトアミノフェン錠2.00mg「マルイシ」	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アセトアミノフェン	2.00mg錠	三和化学	アセトアミノフェン錠2.00mg「三和」	A.出荷量通常	①通常出荷	2022年6月
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アセトアミノフェン	2.00mg錠	武田テバファーマ	アセトアミノフェン錠2.00mg「武田テバ」	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アセトアミノフェン	2.00mg錠	辰巳	アセトアミノフェン錠2.00mg「TCK」	C.出荷量支障	②限定出荷(自社の事情)	未定
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アセトアミノフェン	3.00mg錠	あゆみ	カロナール錠3.00	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アセトアミノフェン	3.00mg錠	奥生堂	アセトアミノフェン錠3.00mg「JG」	D.出荷停止	—	2022年11月以降
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アセトアミノフェン	3.00mg錠	丸石	アセトアミノフェン錠3.00mg「マルイシ」	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アゾセמיד	3.00mg錠	三和化学	ダイアード錠3.00mg	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アゾセמיד	3.00mg錠	奥生堂	アゾセמיד錠3.00mg「JG」	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 80%以下 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アデノン三リン酸ナトリウム	2.00mg錠	日医工	ATP懸濁液2.00mg「日医工」	D.出荷停止	—	未定
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アテノロール	5.00mg錠	チノーミン錠5.0	チノーミン錠5.0	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アテノロール	5.00mg錠	武田テバファーマ	アテノロール錠5.0mg「タイヨー」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)	未定
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アテノロール	5.00mg錠	日医工ファーマ	アテノロール錠5.0mg「NIK P」	D.出荷停止	—	2023年09月以降
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アテノロール	5.00mg錠	沢井	アテノロール錠5.0mg「サワイ」	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アテノロール	5.00mg錠	日新製薬	アテノロール錠5.0mg「日新」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)	未定
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アテノロール	5.00mg錠	ファイザー	アテノロール錠5.0mg「ファイザー」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)	令和4年4月1日より経過措置期間移行
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アテノロール	5.00mg錠	東和薬品	アテノロール錠5.0mg「トーウ」	B.出荷量減少	②限定出荷(自社の事情)	未定
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アテノロール	5.00mg錠	奥生堂	アテノロール錠5.0mg「JG」	D.出荷停止	—	2023年01月以降
2022年5月調査 限定基準該当外 (昨年12月調査 105%以上)	内用薬	アテノロール	5.00mg錠	高田	アテノロール錠5.0mg「ツルハラ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)	2022年7月
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アトモキセチン塩酸塩	5mg錠	第一三共エスファ	アトモキセチン錠5mg「DSEP」	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アトモキセチン塩酸塩	5mg錠	高田	アトモキセチン錠5mg「タカタ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)	2022年9月
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アトモキセチン塩酸塩	5mg錠	東和薬品	アトモキセチン錠5mg「トーウ」	A.出荷量通常	③限定出荷(他社品の影響)	未定
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アトモキセチン塩酸塩	5mg錠	ニプロ	アトモキセチン錠5mg「ニプロ」	C.出荷量支障	③限定出荷(他社品の影響)	未定
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アトモキセチン塩酸塩	5mg錠	日本ジェネリック	アトモキセチン錠5mg「J」	C.出荷量支障	③限定出荷(その他)	未定
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アトモキセチン塩酸塩	1.00mg錠	第一三共エスファ	アトモキセチン錠1.0mg「DSEP」	A.出荷量通常	①通常出荷	—
2022年5月調査 105%以上	内用薬	アトモキセチン塩酸塩	1.00mg錠	高田	アトモキセチン錠1.0mg「タカタ」	A.出荷量通常	②限定出荷(自社の事情)	2022年6月

(日薬連HP公開より)

● 厚生労働省医政局経済課長通知

医政経発 0616 第 8 号
令和 4 年 6 月 16 日

日本製薬団体連合会会長 殿

厚生労働省医政局経済課長



日本製薬団体連合会による「医薬品供給状況にかかる調査」 の結果の公表について

平素より、医薬品等の安定供給の確保にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「医薬品供給状況に係る調査への協力依頼について（継続調査協力依頼）」（令和 4 年 5 月 24 日付け医政経発 0524 第 3 号厚生労働省医政局経済課長通知）に応じて、医薬品供給状況に係る調査を実施し、その調査結果を公表いただきましたことに御礼申し上げます。今回の調査結果の公表等を通じた情報提供の充実により、医療用医薬品の供給状況が改善に向かうことを期待しております。

本調査結果の公表については関係各位にお知らせしているところですが、併せて、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人日本薬剤師会及び四病院団体協議会に対して、購入量の一定の目安を示した上で必要最低限の発注としていただくこと及び同時に複数の卸に同一品目を発注している場合には見直していただくことについて、並びに、一般社団法人日本医薬品卸売業連合会及び一般社団法人日本ジェネリック医薬品販社協会に対して、医療用医薬品の供給が偏らないように受注・出荷をしていただくこと等による安定供給及び円滑な流通への協力について、それぞれ、引き続き、協力を依頼しているところです。

貴団体におかれましても、引き続き、加盟団体を通じて会員会社に対し、増産対応について検討し可能な場合には増産していただくこと、限定出荷の解除に努めていただくこと、必要な情報提供を適切に実施していただくこと及び安定供給に努めていただくことについてご協力いただけるよう、ご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

その他、協会としての活動の充実、国等との連携 参考資料（４）

本調査は、医療関係の皆様へ現在の医薬品の供給状況を一覧でご提供することで供給不安解消の一助となればと実施させていただいているものであり、供給状況の分析を目的としているものではございませんので、以下は、あくまでご参考ということでお示しいたします。

● 日薬連 医薬品供給状況にかかる調査結果

5月調査対象品目の8月調査での供給状況（両調査での比較可能な品目の供給状況）

5月調査と8月調査で比較可能な品目の供給状況を見ると、本年5月調査で「出荷量支障」や「出荷停止」であった品目の中には8月調査で「出荷量通常」となっている品目がある一方、本年5月調査で「出荷量通常」であった品目の中には8月調査で「出荷量支障」や「出荷停止」となっている品目もあり、全体としてみれば供給不安は大きくは改善しているとは言えない状況である。

出荷量の状況	5月調査		8月調査	
A. 出荷量通常	2,246	70.8%	2,184	68.9%
B. 出荷量減少	224	7.1%	181	5.7%
C. 出荷量支障	135	4.3%	119	3.8%
D. 出荷停止	503	15.9%	511	16.1%
その他	64	2.0%	177	5.6%
合計	3,172	100.0%	3,172	100.0%

製造販売業者の対応状況	5月調査		8月調査	
①通常出荷	1,334	42.1%	1,366	43.1%
②限定出荷（自社の事情）	213	6.7%	178	5.6%
③限定出荷（他社品の影響）	988	31.1%	859	27.1%
④限定出荷（その他）	66	2.1%	72	2.3%
—	507	16.0%	514	16.2%
その他	64	2.0%	183	5.8%
合計	3,172	100.0%	3,172	100.0%

※合計数（3,172）は、5月調査時に掲載されていた調査対象品目で8月調査時も掲載されている品目数であるため、5月調査時より品目数は若干減少している。

その他、協会としての活動の充実、国等との連携 参考資料（5）

本調査は、医療関係の皆様は現在の医薬品の供給状況を一覧でご提供することで供給不安解消の一助となればと実施させていただいているものであり、供給状況の分析を目的としているものではございませんので、以下は、あくまでご参考ということでお示しいたします。

● 日薬連 医薬品供給状況にかかる調査結果 8月調査での供給状況

8月調査は、5月調査から対象品目を拡大し実施しているため、両調査を単純比較することはないが、供給に関する各項目の比率で見れば供給状況は改善傾向にある。

出荷量の状況	5月調査		8月調査	
A.出荷量通常	2,246	70.8%	8,408	74.1%
B.出荷量減少	224	7.1%	613	5.4%
C.出荷量支障	135	4.3%	401	3.5%
D.出荷停止	503	15.9%	1,212	10.7%
その他	64	2.0%	714	6.3%
合計	3,172	100.0%	11,348	100.0%

製造販売業者の対応状況	5月調査		8月調査	
①通常出荷	1,334	42.1%	6,491	57.2%
②限定出荷（自社の事情）	213	6.7%	585	5.2%
③限定出荷（他社品の影響）	988	31.1%	2,100	18.5%
④限定出荷（その他）	66	2.1%	162	1.4%
—	507	16.0%	1,215	10.7%
その他	64	2.0%	795	7.0%
合計	3,172	100.0%	11,348	100.0%

その他、協会としての活動の充実、国等との連携 参考資料（6）

● 医療用医薬品供給状況データベース（通称：DSJP）

- ✓ 「医療用医薬品供給状況データベース DrugShortage.jp（通称：DSJP）」は、出荷調整や出荷停止などの医薬品供給状況を登録しているデータベース。
- ✓ 2021年初頭から始まった大規模な出荷調整の膨大な情報を整理するために、SNSで集まった有志によってデータ入力が行われている。
- ✓ 出荷調整などの告知は雛形も決まっておらず、製薬会社各々の方法で告知されているため、データは全て手入力でデータベースに登録されている。
- ✓ 現在、費用は広告収入で補填されており、引き続きボランティアにより運営されている。

現在、DSJPは医療機関・薬局にとっての実質一次情報確認サイトの位置づけになっている。

告知日	実施日	2輪分類	出荷状況	代替品	品名	屋号	製薬会社
2022年08月10日	2022年08月10日		出荷調整	[検索] アトルバスタチン P T P 100RE		サンド	サンド
2022年08月10日	2022年08月10日		出荷調整	[検索] アトルバスタチン P T P 500RE		サンド	サンド
2022年08月10日	2022年08月10日		出荷調整	[検索] アトルバスタチン パラ500RE		サンド	サンド
2022年08月10日	2022年08月10日		出荷調整	[検索] アトルバスタチン錠5mg 「サンド」 P T P 700RE		サンド	サンド
2022年08月10日	2022年08月10日		出荷調整	[検索] アトルバスタチン錠10mg 「サンド」 P T P 100RE		サンド	サンド
2022年08月10日	2022年08月10日		出荷調整	[検索] アトルバスタチン錠10mg 「サンド」 P T P 500RE		サンド	サンド
2022年08月10日	2022年08月10日		出荷調整	[検索] アトルバスタチン錠10mg 「サンド」 パラ500RE		サンド	サンド
2022年08月10日	2022年08月10日		出荷調整	[検索] アトルバスタチン錠10mg 「サンド」 P T P 700RE		サンド	サンド
2022年08月05日	2022年08月05日	A-③	出荷調整	[検索] アトルバスタチン錠5mg 「ケミファ」 P T P 100RE		ケミファ	日本ケミファ
2022年08月05日	2022年08月05日	A-③	出荷調整	[検索] アトルバスタチン錠5mg 「ケミファ」 P T P 500RE		ケミファ	日本ケミファ
2022年08月05日	2022年08月05日	A-③	出荷調整	[検索] アトルバスタチン錠10mg 「ケミファ」 P T P 100RE		ケミファ	日本ケミファ
2022年08月05日	2022年08月05日	A-③	出荷調整	[検索] アトルバスタチン錠10mg 「ケミファ」 P T P 500RE		ケミファ	日本ケミファ
2022年08月02日	2022年08月16日		解除	[検索] アトルバスタチン錠5mg 「サワイ」 P T P 100RE		サワイ	沢井製薬
2022年08月02日	2022年08月16日		解除	[検索] アトルバスタチン錠5mg 「サワイ」 P T P 500RE		サワイ	沢井製薬

● DSJP 医薬品供給問題に関するアンケート結果

製薬企業に求めることはありますか

（自身が製薬企業に所属する場合は無回答、または他社に関してお応えください）

・ 選択肢

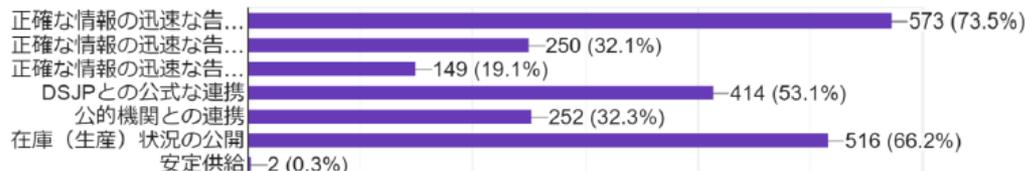
- 正確な情報の迅速な告知（WEBサイト）
- 正確な情報の迅速な告知（ダイレクトメール）
- 正確な情報の迅速な告知（訪問）
- DSJPとの公式な連携
- 公的機関との連携
- 在庫（生産）状況の公開
- その他（自由記述）

正確な情報の迅速な告知（WEBサイト）	573	73.5%
正確な情報の迅速な告知（ダイレクトメール）	250	32.1%
正確な情報の迅速な告知（訪問）	149	19.1%
DSJPとの公式な連携	414	53.1%
公的機関との連携	252	32.3%
在庫（生産）状況の公開	516	66.2%
その他（自由記述）	35	3.6%

製薬企業に求めることはありますか（自身が製薬企...は無回答、または他社に関してお応えください）

780 件の回答

※回答数1件の意見については非表示



（医療用医薬品供給状況データベース DrugShortage.JP アンケート結果より）

ジェネリック医薬品の信頼回復に向けた取組み ～令和4年度中間報告と今後の取組みについて～

2022年10月版ガントチャート

日本ジェネリック製薬協会

※本ガントチャートに記載の取組み事項、スケジュール等につきましては検討の過程で随時変更となります。

ジェネリック医薬品の信頼回復に向けた取組み

当協会として、下記の取組みを通じて、患者様及び医療関係者に「安心」して使用いただける品質の担保されたジェネリック医薬品のみが安定的に市場に流通する状況を実現してまいります。

I. コンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントの強化

経営者及びすべての社員にコンプライアンス意識が浸透し、ガバナンス体制（管理体制・内部統制）が強化されるとともに、リスクマネジメントが実践されるような取組みを継続的に実施してまいります。

II. 品質を最優先する体制の強化

会員各社の医薬品の製造管理・品質管理体制（GMP）、品質保証体制（GQP）及び安全管理体制（GVP）の一層の強化を図るための取組みを継続的に実施してまいります。

III. 安定確保への取組み

供給不安品目への対応として、各社は在庫の放出、増産対応、生産能力の増強を行う。協会及び各社は供給不安品目の情報提供の充実と不安解消に向けた取組みを行う。

IV. 積極的な情報の提供と開示

会員各社及び協会として、積極的な情報の提供と開示の取組みを継続いたします。

V. その他、協会活動の充実、国等との連携

ジェネリック医薬品の信頼回復に向けた取組みを着実に進めるため、協会としての活動の充実を図るとともに、国や業界上部団体と課題を共有しながら対策を講じる。

I. コンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントの強化

	令和2年度	令和3年度		令和4年度												
	下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1) 小林化工・日医工事案等の検証																
1) -1 2事案の検証		完了														
1) -2 協会として継続して取組むべき事項の明確化		完了														
2) 各社の経営者自らが法令を厳格に遵守する宣言																
2) -1 各社経営者への宣言の要請			完了													
2) -2 各社ホームページへの宣言の掲載			完了													
2) -3 各社社員への宣言の周知徹底			完了													
2) -4 社内外の受け止めの確認			完了													

■ ……取組み事項として完全に終了

■ ……実施済み

■ ……実施予定

■ ……検討中

I. コンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントの強化

		令和2年度	令和3年度		令和4年度											
		下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
3) 経営トップ自らの製造現場訪問等による製造実態把握の徹底																
3) -1	経営トップ自らの製造現場への訪問	要請	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定
3) -2	協会への製造実態把握の工夫の報告と共有			実施												

■・・・取組み事項として完全に終了

■・・・実施済み

■・・・実施予定

■・・・検討中

I. コンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントの強化

		令和2年度	令和3年度		令和4年度														
		下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
4) 各社におけるコンプライアンス・ガバナンスの強化の徹底																			
4) -1	各社での全社員への啓発活動の実施			実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定
4) -2	協会によるコンプライアンス対応状況調査の実施		検討	実施 フィードバック 対外公表														予定	FB
4) -3	協会による経営者へのコンプライアンス・ガバナンス強化の必要性の徹底			実施		実施													
4) -4	協会による経営層向けコンプライアンス研修の実施		実施	実施								実施							
4) -5	各社でのコンプライアンス自己点検の実施										実施	実施							
4) -6	各社でのコンプライアンス体制・取組みの強化											実施	実施	実施	検討	検討	検討		
4) -7	各社ホームページ等でのコンプライアンスの取組みの状況の公表											実施	実施	実施	検討	検討	検討		

■・・・取組み事項として完全に終了

■・・・実施済み

■・・・実施予定

■・・・検討中

I. コンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントの強化

		令和2年度	令和3年度		令和4年度											
		下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
5) 各社の内部通報制度・体制の充実支援																
5) -1	各社における内部通報制度の調査 (整備状況のアンケート調査)		完了													
5) -2	協会による調査結果の各社への説明の 実施		完了													
5) -3	協会からの体制整備要請文の発出		完了													
5) -4	協会による制度充実のためのチェックリスト の作成と配布		完了													
5) -5	協会による実務者向け研修会の実施			実施			実施									予定
5) -6	協会による制度整備・運用状況の モニターと検証				実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定
6) 各社の内部通報制度・体制を補完する 協会の公益通報制度・体制の充実																
6) -1	協会への相談体制の充実		完了													
6) -2	各社への協会窓口の周知			実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定

■ ……取組み事項として完全に終了

■ ……実施済み

■ ……実施予定

■ ……検討中

I. コンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントの強化

		令和2年度	令和3年度		令和4年度											
		下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
7) 協会のリスクマネジメント体制の強化																
7) -1	信頼性向上プロジェクト常任委員会の充実	実施	実施	実施												
7) -2	総括製造販売責任者会議の定例開催	実施	実施	実施	実施	実施	実施									
7) -3	信頼性向上プロジェクト・各委員会・理事会の一体化	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定

■・・・取組み事項として完全に終了

■・・・実施済み

■・・・実施予定

■・・・検討中

II. 品質を最優先する体制の強化

		令和2年度	令和3年度		令和4年度												
		下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1) 信頼性確保確認アンケートの実施 (改正GMP省令/企業文化/安定供給)																	
1) -1	アンケートの実施と結果の对外公表	完了															
1) -2	アンケート結果の会員会社・国への共有	完了															
1) -3	アンケート結果から判明した課題への 各社での対応		実施	実施													
2) 原薬取違え防止策に関する事例調査の実施																	
2) -1	事例調査の実施	完了															
2) -2	事例調査結果の对外公表		完了														
2) -3	効果的な取組み事例の会員会社・国 への共有		完了														

■・・・取組み事項として完全に終了

■・・・実施済み

■・・・実施予定

■・・・検討中

II. 品質を最優先する体制の強化

	令和2年度	令和3年度		令和4年度												
	下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
3) 総括製造販売責任者が有する課題の共有と対応																
3) -1 承認書自主点検に関する意見交換の実施	実施	実施	実施										検討			
3) -2 各社の承認書自主点検後の薬事対応の実施			実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	検討	検討	検討
3) -3 総責の役割等に関する意見交換の実施 (次世代総責の育成含む)			実施		実施	実施				実施						
3) -4 総責の実務理解のための研修会等の実施 (次世代総責の育成含む)												検討				

■・・・取組み事項として完全に終了

■・・・実施済み

■・・・実施予定

■・・・検討中

II. 品質を最優先する体制の強化

		令和2年度	令和3年度		令和4年度											
		下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
4) 全会員企業における製造販売承認書と製造実態の自主点検の実施																
4) -1	承認書自主点検チェックリストの作成 (第三者監修)	実施														
4) -2	各社における承認書自主点検の実施		実施	実施												
4) -3	各社ホームページへの点検状況の掲載					実施										
4) -4	各社の薬事対応予定の調査実施 (厚労省への報告・相談を含む)			実施	実施	実施		実施	実施	実施	実施	実施	実施			
4) -5	承認書自主点検の検討 (第2弾：規格及び試験方法等)															検討
																検討
																検討

■・・・取組み事項として完全に終了

■・・・実施済み

■・・・実施予定

■・・・検討中

Ⅱ. 品質を最優先する体制の強化

		令和2年度	令和3年度		令和4年度													
		下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
5) 協会のGMP相談体制の充実																		
5) -1	GMP相談窓口の設置		完了															
5) -2	GMP相談窓口以外の相談方法の検討			実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施					
6) 各社の確実なGMP遵守体制の構築																		
6) -1	調査報告書提言を参照したGMP現況調査の実施と各社における不備事項の改善			実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施								
6) -2	アカデミアとの共同による品質文化に関する調査方法の検討			実施	実施	実施	実施											
6) -3	協会による品質文化に関する調査とその醸成度の評価							実施	実施	実施	実施	実施	実施					
6) -4	各社における品質文化の更なる醸成に向けた対策の実施															検討	検討	検討

■ ……取組み事項として完全に終了

■ ……実施済み

■ ……実施予定

■ ……検討中

Ⅱ. 品質を最優先する体制の強化

		令和2年度	令和3年度		令和4年度											
		下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
7) 外部機関による製造所の管理体制の確認																
7) -1	外部機関として実施可能な組織・団体の選定と実施可能性の確認			実施												
7) -2	方針の策定と実施方法の検討			実施	実施	実施	実施									
7) -3	方針に基づいた管理体制の確認の試行的実施							実施	実施	実施						
7) -4	各社製造所での管理体制確認の実施											検討	検討	検討	検討	検討
8) 安全管理体制の充実と手順の標準化支援																
8) -1	安全管理に関する調査の実施と結果の分析		実施	完了												
8) -2	調査結果を踏まえた対策の必要性の検討			実施	実施	実施	完了									
8) -3	対策を含めた各社へのフィードバックの実施			実施			完了									
8) -4	対策実施後の状況確認のための再調査の必要性の検討						完了									

■ ……取組み事項として完全に終了

■ ……実施済み

■ ……実施予定

■ ……検討中

Ⅲ. 安定確保への取組み

	令和2年度	令和3年度		令和4年度												
	下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1) 供給不安品目への対応として、在庫の放出・個別品目の増産	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定
2) 供給不安品目の情報提供の徹底																
2) -1 各社における医療関係者等への迅速な情報提供の徹底	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定
2) -2 各社ホームページでの情報提供の徹底	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定
2) -3 GE薬協「製品の供給状況について」サイトへの改善				実施	実施	実施	実施	実施	公開	メンテナンス	メンテナンス	メンテナンス	予定	予定	予定	
2) -4 日薬連安定確保委員会へ参画してのGE薬協供給状況サイトとの連動対応						検討	検討	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定	
2) -5 GE薬協「製品の供給状況について」サイトへの確実な入力									実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定	
2) -6 日薬連安定確保委員会へ参画しての業界の供給に係る用語の業界統一と定着			検討	用語統一	説明会実施	説明動画公開										
2) -7 業界で統一されたフォーマットによる各社の情報提供の定着			実施	検討	検討	啓発	啓発	啓発	定着							

Ⅲ. 安定確保への取組み

		令和2年度	令和3年度		令和4年度											
		下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
3) 供給不安状況の深掘りと見える化																
3) -1	供給状況調査内容の分析											検討	検討			
3) -2	民間データによる供給状況の分析											検討	検討			
3) -3	流通業者への供給不安品目のヒアリング											検討	検討			
3) -4	供給不安成分の分類と状況の見える化											検討	検討	検討	検討	検討
4) 供給不安解消に向けた 具体性のある対応の立案と推進																
4) -1	分類別対応策（案）の立案													検討	検討	検討
4) -2	対応策（案）の 公正取引委員会への照会											検討	検討			
4) -3	GE薬協としての対応策の実行													検討	検討	検討

Ⅲ. 安定確保への取組み

	令和2年度	令和3年度		令和4年度											
	下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
5) 供給不安解消に向けた ステークホルダーとの連携															
5) -1 医療用医薬品供給状況データベース (DSJP) との定期意見交換の実施								実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定
5) -2 医療用医薬品供給状況データベース (DSJP) とGE薬協との協力体制の確立								検討	検討	検討	検討	検討			
5) -3 医療用医薬品供給状況データベース (DSJP) のGE薬協としての支援													検討	検討	検討
5) -4 GE薬協外主要GE供給企業の特定と 定期意見交換の実施													検討	検討	検討
5) -5 GE薬協外主要GE供給企業での供給不安 解消に向けた取組みの実施フォロー													検討	検討	検討

IV. 積極的な情報の提供と開示

		令和2年度	令和3年度		令和4年度											
		下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1) 医療関係者等への取組み状況の積極的な説明																
1) -1	業界紙等を通じた取組み状況の公表（記者会見等）	実施	実施	実施								実施				予定
1) -2	行政関係者、医療関係団体等への取組み状況の説明（個別に対応）	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定
1) -3	全47都道府県向け説明会の実施		実施	実施									実施			
1) -4	保険者向け説明会の定期的な実施		実施	実施								実施				
1) -5	全47都道府県GE使用促進協議会への取組み状況の説明とフォロー		実施	実施			実施	個別対応予定	個別対応予定	個別対応予定						
2) 医療関係者等へのきめ細かな情報の提供と開示																
2) -1	JGAニュースによる業界内外への発信機会の増加		実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定
2) -2	協会ホームページ内の特設サイトの更なる充実		実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定
2) -3	協会SNSを通じた情報の発信の更なる拡充（YouTube等）			実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定

IV. 積極的な情報の提供と開示

	令和2年度	令和3年度		令和4年度												
	下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
3) 協会会員以外の企業への取組みの呼びかけ																
3) -1 協会が行っている自己点検の呼びかけ		実施	実施													
3) -2 取組み賛同企業への更なる呼びかけ (呼びかける事項の明確化)		実施	実施	実施	実施	実施										
3) -3 取組み賛同企業への更なる呼びかけ (供給に関する情報に関する呼びかけ)							実施	実施	実施	実施	実施					

V. その他、協会活動の充実、国等との連携

		令和2年度	令和3年度		令和4年度													
		下期	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1) 協会の委員会活動等の充実																		
1) -1	信頼性向上プロジェクト常任委員会の頻回開催、委員追加等による活動の充実	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定
1) -2	委員会参加者数増加の要請	1回実施		2回実施		実施												
1) -3	理事の委員会管掌制の導入	実施		実施		実施												
2) 国や業界上部団体との課題の共有と取組み																		
2) -1	国や業界上部団体との定期的な意見交換会の実施		実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定
2) -2	官民で取り組むべき対応課題への取組み			実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	予定	予定	予定